

講義名	(対面)研究演習		
講義コード	45023	授業形態	
担当教員	長田 貴仁		
開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5時限		
備考			

ゼミ
研究演習
学部
全学部
学科
全学科
演習名
現代ビジネス事情と実践経営学

## 概要説明

経営学者だけではなく、「できるビジネスマン」の間でも読まれている注目の書籍を取り上げ、経営学の理論とビジネスの現実の擦り合わせを行う。本ゼミでは、著名経営者と対話してきた長田と「ビジネスの現実」について、大いに語り合うことにより、知的好奇心を刺激し、幅広い教養を身に着けることができる。具体的には、次の10点である。
1. (独立型)起業、後継だけでなく、就職しても、今後、絶対に求められる新事業を起こせる「事業構想力」を磨くことを目標とする。その「専門基礎」となる情報収集力、コミュニケーション能力、とくに、プレゼン力、ディスカッション力を高められる。
2. 多くの著名経営者と接してきた教授(長田)と接することで、「人とは何か」、「企業とは何か」といった深い思考ができるようになる。
3. 最新ビジネス情報のシャワーを浴び、半年で情報通になれる。
4. 経営学の理論と照らし合わせて、現実のビジネス現象を分析できるようになる。
5. 自発的に調べ、論理的に考え、文学的に表現し、積極的に行動できる人になる。
6. 「企業から求められる人材＝リーダー」であることを自覚し、具現化できる。
7. キャリアデザイン(将来の職業計画)を描けるようになる。
8. 学問のみではなく、人生について一緒に考える「長田塾」とし、インテリジェントかつ思い出に残る師弟関係を築くことができる。
9. 「ネアカ のびのび へこたれず」の精神を身に着ける。
10. 「流通科学大学」で学ぶことの意義を見出せる。

趣味・特技
趣味：言えないわけではないですが、言うほどでもない趣味。聞きたい人にはお答えします。(仕事と趣味を分けて考えられるほど器用な人間ではありません。)
特技：バイリンガル(関西弁と標準語)。

所属
所属学会
組織学会 日本経営学会 経営史学会 日本ベンチャー学会

専門分野
経営者論、経営戦略、マーケティング戦略、ビジネス・ジャーナリズム。

選考方法
「ネアカ のびのび へこたれず」の精神を体現できる人。または、体現できるよう努める前向きな人。情報収集に興味があり、実行している、または、実行したい人。プレゼン能力、ディスカッション能力が高い人。または、高めたい人。以上、～に当てはまるか否かを選考基準として、ゼミ入門の是非を判断する。

担当科目
特別講義(プロデュース論)、経営管理論A、経営管理論B、経営管理論、経営管理論、戦略的マーケティング論じ、専門基礎演習、研究演習、事例研究(大学院)。

備考
ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助(准)教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えてきました。その中には、現役社長も数名いらっしゃいました。

教員よりの要望
1.毎日、「日本経済新聞」(電子版も可)を読むこと。「日経ビジネス」、「東洋経済」、「ダイヤモンド」、「プレジデント」、「エコノミスト」などのビジネス誌も定期的に目を通しておき、常に「情報武装」しておくことが望ましい。 <p>2.テーマを決め、それ関する記事をスクラップブックに貼り(デジタル処理してもいい)、熟読し関連情報を調べること。</p>

教員英字氏名
Takahito Osada

研究室
研究棟 218
最終学歴
博士(神戸大学)、修十(早稲田大学大学院社会科学研究所)

主な研究活動・社会活動・研究業績
以下、著書、論文の他、主要ビジネス系メディア(近年はオンライン系も含む)に論説を発信している。 <p>『セコム その経営の真髄』ダイヤモンド社、2012年7月</p> 『経営は言葉である』光文社、2010年2月 『増補新版 パナソニック ウェイ』プレジデント社、2008年12月 『社長の後打ち』光文社、2007年10月 『ソニー 復活の経営学』東洋経済新報社、2006年7月(台湾で翻訳出版) 『The Panasonic Way 松下電器「再生」の論理』プレジデント社、2006年2月 『シャープの謎』プレジデント社、2004年6月 『田中耕一の「自分を活かす」術』講談社、2003年3月(韓国で翻訳出版) 『変わる松下 生まれ変わった日産』光文社、2002年9月 『SANVO 井植敏の「馬」上行動』組織革命』講談社、2002年8月 『ベンチマークスピリットの研究 ケーススタディ ニ洋電機』NTT出版、2002年1月 『カルロス・ゴーン 人を動かす技術』日本文芸社、2001年12月 『松下がソニーを超える日』サンマーク出版、2001年9月(韓国で翻訳出版) (共著) 『セコム』(久野康成氏他と共著)出版文化社、2017年9月、pp.7-34,59-110,111-134,135-144,145-176

主な卒業論文のタイトル

趣味・特技
趣味：言えないわけではないですが、言うほどでもない趣味。聞きたい人にはお答えします。(仕事と趣味を分けて考えられるほど器用な人間ではありません。)
特技：バイリンガル(関西弁と標準語)。

所属
所属学会
組織学会 日本経営学会 経営史学会 日本ベンチャー学会

専門分野
経営者論、経営戦略、マーケティング戦略、ビジネス・ジャーナリズム。

選考方法
「ネアカ のびのび へこたれず」の精神を体現できる人。または、体現できるよう努める前向きな人。情報収集に興味があり、実行している、または、実行したい人。プレゼン能力、ディスカッション能力が高い人。または、高めたい人。以上、～に当てはまるか否かを選考基準として、ゼミ入門の是非を判断する。

担当科目
特別講義(プロデュース論)、経営管理論A、経営管理論B、経営管理論、経営管理論、戦略的マーケティング論じ、専門基礎演習、研究演習、事例研究(大学院)。

備考
ビジネス誌「プレジデント」編集部を経て、2005年4月、神戸大学大学院経営学研究科助(准)教授に就任したのを皮切りに大学の世界に入りました。その後、複数の大学、大学院で一般学生だけでなく、社会人も教えてきました。その中には、現役社長も数名いらっしゃいました。

評価方法
期末レポート40%、講義時に求める提出物およびプレゼン、発言60%。 <p>コロナウイルス感染拡大の状況変化に伴い、講義形式の変更も想定されるが、そうなった場合でも成績評価方法は変更しない。</p> 本ゼミは、現代ビジネス社会の評価基準である「信賞必罰」を適用する。『現代ビジネスの基本』は契約である。履修登録した段階で、以下の契約内容に同意したことになる。良い結果を出した人は高く評価する。本講義開始後に守らない場合は、契約違反、として処する。 1.「ネアカ のびのび へこたれず」の精神を体現し、組織(クラス)のモチベーションを高める前向きな姿勢を見せた人は努力点として加点する。 2.他の科目と同様、出席は当たり前。無断欠席は大幅減点。欠席する場合は証明書類(例：公欠届、医師の診断書が病院の領収書写し、など)を提出せよ。

実務経験の有無及び活用
実務経験あり。著名経営者やビジネスマン、技術者にインタビュー、執筆、編集した経験をもとに、現代ビジネスの実態について言及し、経営学とジャーナリズムの観点から理論的・実践的知識を教授する。

<p> - 523 - </p>
------------------